

おかやま



生涯学習センター だより

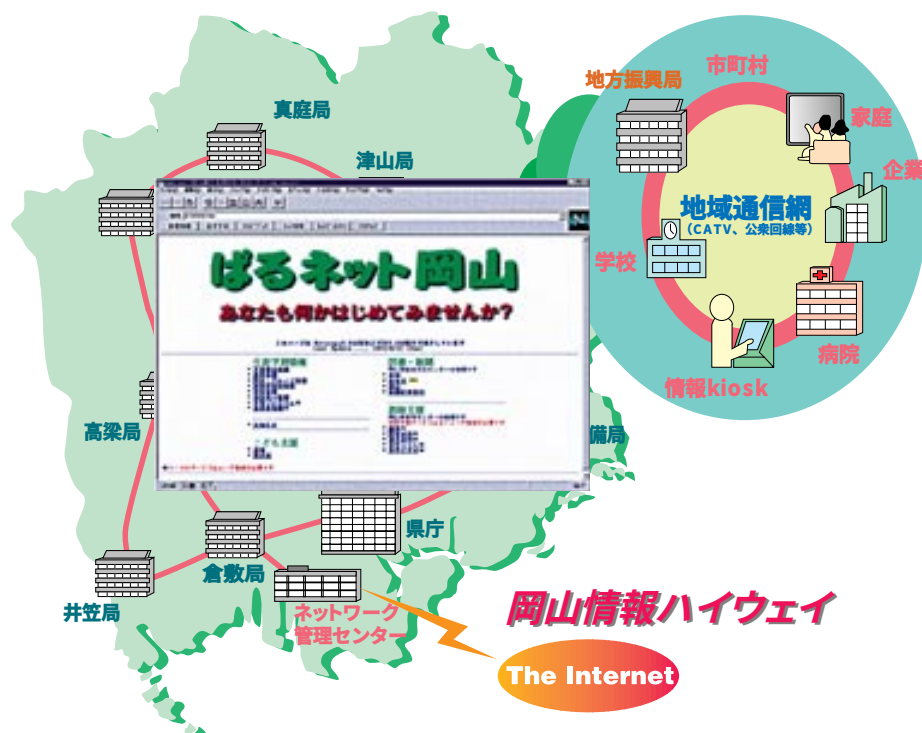
THE FOURTH NUMBER

第4号

情報化特集

ホームページへのアクセスはこちら(10月初旬から公開予定)

<http://www.pal.pref.okayama.jp>



親子ふれあいパソコン教室

CONTENTS

情報化特集

② ③ 岡山情報ハイウェイと生涯学習イメージ図

情報化特集

④ ⑤ 「ぼるネット岡山」がインターネットで

情報化特集

⑥ 岡山県総合文化センターの情報ハイウェイへの取り組み―「デジタル岡山大百科」―

情報化特集

⑦ 「倉敷ネット」がスタート

センター利用者の声、報告

⑧ 交流棟利用者の声、全国生涯学習センター等職員研究協議会の報告

お知らせ

⑨ 「高齢者社会参加セミナー」参加者募集、ハイビジョンシアター(後期)、子ども映画会

わかまちの生涯学習

⑩ 赤坂町 ⑪ 旭町

お知らせ

⑫ 初級パソコン講座、文化講演会

初級パソコン講座受講者募集中!

岡山県生涯学習センター

教育分野での利用

世界中の情報を入手して、授業に活用したり、小中学校同士がテレビ電話で交流することもできます。

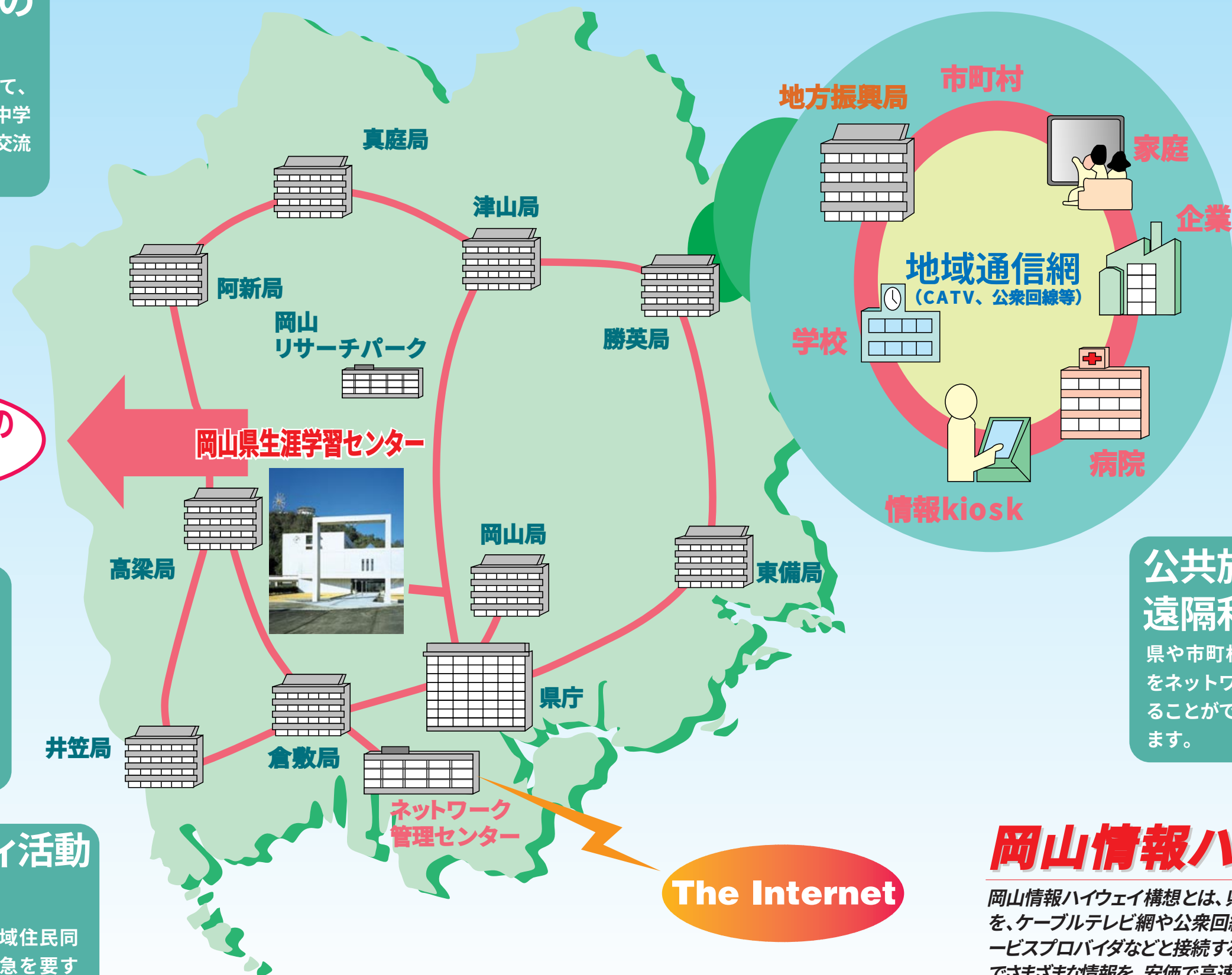
生涯学習情報の発信

医療・福祉分野での利用

家庭から健康相談や介護相談をしたり、病院間での情報交換や映像中継が可能になります。

コミュニティ活動での利用

生活時間の異なる地域住民同士の意見交換や、緊急を要する場合に効果を発揮します。



中小企業等のネットワーク化

中小企業等のネットワーク構築が容易になり、自社だけでなく、企業間の連携にも利用できます。

公共施設の遠隔利用

県や市町村等の公共施設をネットワーク上で利用することができるようになります。

岡山情報ハイウェイ

岡山情報ハイウェイ構想とは、県が整備する高速回線を、ケーブルテレビ網や公衆回線網、インターネットサービスプロバイダなどと接続することにより、県下全体でさまざまな情報を、安価で高速にやり取りできる環境実現を目指したものです。いわば、情報の高速道路です。

「ぱるネット岡山」が

インターネットで!

今まで県生涯学習センターへ直接つないで、ご覧いただいていた岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」が、10月初旬から岡山情報ハイウェイに接続となり、インターネットからも生涯学習情報が検索できるようになります。



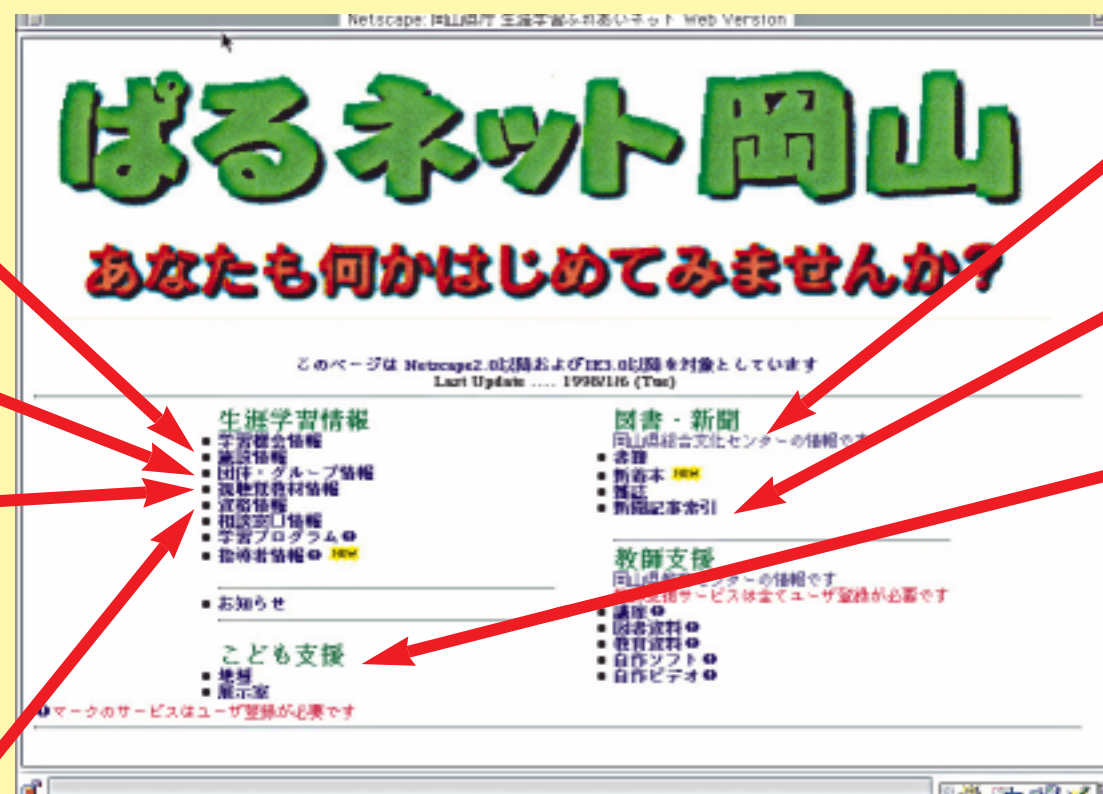
URL (アドレス) <http://www.pal.pref.okayama.jp>

講座・イベント
文化財他

公民館・図書館
体育館・野外施設

公民館等を活動拠点
としている学習グル
ープ・サークル

岡山県生涯学習センター
所有の16ミリフィルム、
ビデオ教材約3300タイトル



県総合文化センター
の蔵書約30万冊

岡山県に関する
新聞記事の索引

県内市町村の面積、
人口等のデータ



情報キヨスク端末からも簡単に
見ることができます。

※ 一部、利用者登録をしないと見られない情報があります。

※ 情報キヨスク端末：県庁、地方振興局にあります。

岡山県総合文化センターの情報ハイウェイへの取り組み

「デジタル岡山大百科」

生涯学習社会とともに、高度情報社会を迎え、利用者がより多様で高度な情報を求めている現在、資料・情報を収集し提供してきた図書館には、さらなる情報サービスの展開が求められています。

当センターは、岡山情報ハイウェイのワーキンググループとして電子図書館ネットワーク研究会を結成し、民間の企業とともに平成八年度から実験を続けてきました。

「デジタル岡山大百科」とは、後述する分散型総合目録システム、マルチメディア情報提供システム、そのほかのサービスを総称したものです。岡山情報ハイウェイの整備、充実によって、県民の方はインターネットを使える環境ならば、いつでもどこでも「デジタル岡山大百科」を利用していただけるようになるのです。

以下に、現在実験中のデジタル岡山大百科の個々のサービスを紹介します。

していきます。

●分散型総合目録システム

「分散型総合目録システム」とは、高速通信が可能な岡山情報ハイウェイを利用して、県内の複数図書館に分散した蔵書目録データの横断検索を実現するものです。その前段階として、核となる当センターの蔵書検索システムをこの十月から公開します。家庭からの図書館資料検索は、県民の方がもっとも期待するサービスのひとつと考えられるため、現在急ピッチで作業を進めているところです。

●マルチメディア情報提供システム

「マルチメディア情報提供システム」とは、岡山県の歴史、風土、人物などについて、文字情報だけでなく情報ハイウェイを活用して画像音声といった大容量情報とともに提供されるシステムです。現在公開しているのは、①岡山の交通網 行政区

画などについてその変遷を地図で示した地図でみる岡山のうつりかわり

②岡山に縁のある人物の説明を通して、岡山

の一面を浮き彫りにする「岡山人物往来」です。今後は県民の方からも情報も提供していただく、双方のやりとりを目指しています。



●「岡山県総合文化センター」ニュースの電子配布

当センターニュースを電子化し、紙形態と同じ感覚でホームページ上で「読む」ことが出来るようになっています。

●電子メールを使ったサービス

電子メールを通して、利用者から質問を受け付けたり、回答を提供したいと考えています（このサービスについては現在検討中です）。

●当センターのホームページの公開

現在、図書館部門では新着図書案内、おすすめ



図書案内やリンクのページなど、芸術文化部門では各種催し物や作品募集情報を公開しています。

岡山情報ハイウェイが整備されるこの十月からは県立高等学校へのパソコン配備がなされるなどハード面では環境が整ってきています。当センターも「デジタル岡山大百科」を充実することによって、ソフト面で県民の方へのサービス・バックアップを目指しています。

なお、当センターのホームページは (<http://www.libnet.gr.jp/>) にて公開中です。ぜひお立ち寄りください。ご意見やご感想をいただければ我々職員もよりよいサービスのため参考になることができます。よろしくお願ひします。

(メールアドレス libnet@libnet.gr.jp)

『倉敷ネット』がスタート

倉敷市は平成五年三月に「倉敷市地域情報化基本計画」を作成し、生涯学習時代に対応すべく、市民サービス向上と地域活性化を目指し、地域情報化を積極的に推進しています。

平成八年十一月には「倉敷市テレピア計画」を作成し郵政省が提唱するテレピア構想モデル都市にも指定されました。

「倉敷市地域サービス情報システム」(愛称・倉敷ネット)は①生涯学習情報提供システム②公共施設案内予約システム③行政情報提供システム④図書館情報提供システム⑤文化施設情報提供システムの五つのシステムをそれぞれネットワークで結んで総合的・一元的に提供していくシステムの総称です。

倉敷ネットの開発の初年度として、平成九年度に①の倉敷市生涯学習情報提供システムを開発し、本年八月からスタートさせました。
このシステムは電話、ファックス、インターネット、利用者開放端末機(ライフパーク倉敷、倉



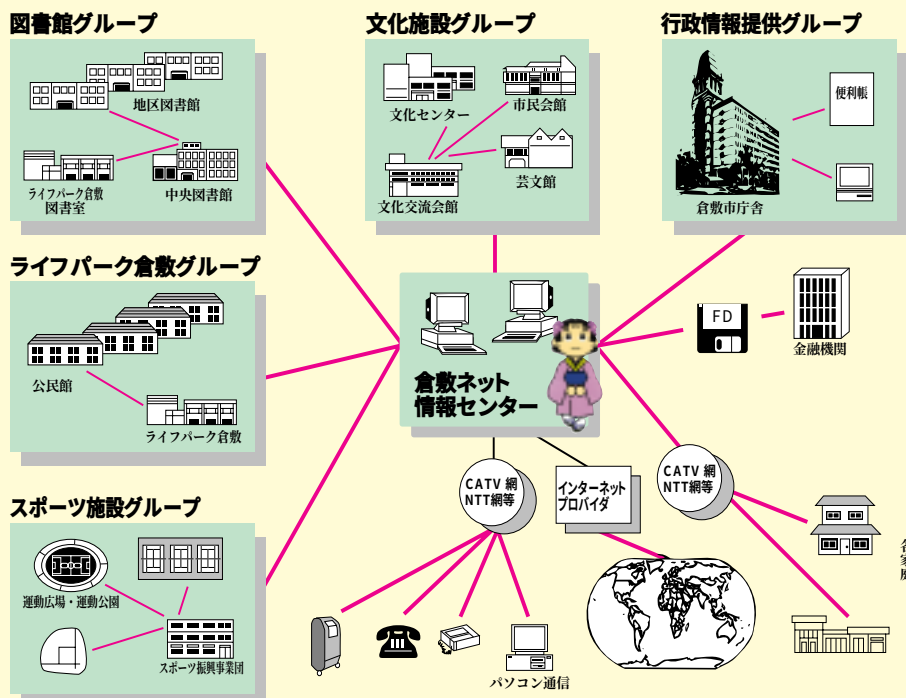
倉敷ネットホームページ <http://area.city.kurashiki.okayama.jp/cgi-bin/indexturn>



倉敷ネットのイメージキャラクター「くららちゃん」

敷・水島・児島・玉島の各基幹公民館へ設置)を利用して、ライフパーク倉敷や各公民館の施設案内や講座・講演案内などの情報提供をするほか、利用者登録をすることにより講座募集・講座申し込み受付も電

地域サービス情報システムの全体イメージ



話、インターネット、利用者開放端末機を利用してできるシステムです。
今年度は市のスポーツ関係など、公共施設案内の予約システムの開発をすすめています、このほかに

も平成十二年度までに、残るシステム構築の完成を目指しています。
『倉敷ネット』はスタートしたばかりでまだ未成熟な部分も多く、より一層の充実を図り生涯学習の振興に大いに役立つことを願っています。

交流棟展示スペース・交流ロビー利用者の声

展示スペース・交流ロビーは、学習成果発表の場として多くの皆様にご利用をいただいています。今回は、利用されたグループ・団体の中から二名の方にご感想を寄せていただきました。

岡崎久美子さん（五月二十一日・三十一日…「パンの花エマ・フロール展」）

広くてとても素敵な展示場で、照明設備も充実していて、おかげで、作品の見栄えがよくなりました。「ゆったりした気持ちで鑑賞することができた。」と言われた方が多く、夜九時まで利用でき、夜に再度来られた方もたくさんいらっしゃいました。次回の展示に向けて、作品づくりの励みとなりました。



角谷雅一さん（七月五日「大阪ハイドン室内合奏団ミニコンサート」）

今年3月に「アマントベーン」のメンバーの一員として演奏したのがきっかけで、今回は大阪の仲間にも声をかけ、利用させていただきました。交流ロビーの音の反響がよく、ホールのような響きで、気持ちよく演奏ができました。どの程度来場者がこられるか不安でしたが、事前に自前で作った案内ビラを掲示していただき、百名近い方の前で演奏でき、満足できました。

全国生涯学習センター等職員研究協議会開催される

当生涯学習センターを会場に九月二十四日から二十六日の三日間、全国各地、並びに県内の関係者約百二十名の参加を得て、盛大に開催されました。

初日は、講演として文部省生涯学習局社会教育課長による生涯学習における今後の施策の動向についての説明、特別講義では「プレゼンテーションの意義」というテーマで生涯学習におけるPR活動の果たす役割についての講義がありました。

二日目のシンポジウムでは「学習成果の活用システムを考える」のテーマに沿い、コーディネーター



の岡山大学の田中宏二教授の進行により、各シンポジストがそれぞれの立場で事例発表や問題提起を行い、熱



のこもった雰囲気の中で討議されました。また、午後からの分科会では「研修事業」・「学習機会」・「調査・研究」を主なテーマに先進的な取り組みについての話題が提供されました。参加者による質疑応答により内容はさらに具体的なものになり、現場に生かせる研究討議の場となりました。

最終日には、倉敷に出向き、倉敷地区ウエルカム観光ガイドの方による現地研修が行われました。現在のボランティア活動の内容を中心とした社会参加と自己実現についての講義を受けた後、実際に観光ガイドを体験していただきました。

「高齢者社会参加セミナー」参加者募集

高齢者の学習活動を通じた社会参加を推進するために、おかやま長寿学園修了者の企画・運営によるセミナーを開催します。どなたでも参加できます。概要は次のとおりです。

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
日時	10月8日 10:45～15:00	10月29日 10:30～14:45	11月17日 10:45～15:00	11月26日 10:30～14:30
内容	講義 「急性疾患のセルフケア いざというときの心の準備」 映画上映「宇宙劇場」 埋蔵文化財センター見学	講義 「介護保険を上手に 使うために(仮題)」 講義 「山中一揆に学ぶ」	講義 「日本の伝統音楽 (邦楽)への誘い」 講義・鑑賞 「美術鑑賞」	講義 「一橋慶喜と 松平慶永の政権」 講義 「古典世界に遊ぶ」
会場	ライフパーク倉敷 (「宇宙劇場」 一般入場料:500円 65歳以上:無料)	高梁文化交流館 受講料:無料	津山文化センター 受講料:無料	県生涯学習センター 受講料:無料

- ☆ どの会場でもお申込みいただけます。(定員:各会場40名程度)
- ☆ 会場ごとに傷害保険料100円が必要です。
- ☆ 申込み締切: 各会場の開催日の1週間前まで

申込み・問い合わせ先

岡山県生涯学習センター 振興課
TEL 086-251-9751

X'mas 子供映画会



入場無料(申込不要)

日時／平成10年12月26日(土)
第1回目10:00～ 第2回目13:00～
ところ／岡山県生涯学習センター
視聴覚室(情報・創作棟1階)
定員／各72名(席数の関係上、先着順となります。)

ハイビジョンシアター

後期

開催日	時 間	上 映 作 品	分野
9/26 (土)	13:30～15:00	ギリシャ・エーゲ海 (33分) 忍たま乱太郎 パートII (24分) ジャングル大帝-自然- (24分)	紀行 アニメ アニメ
10/24 (土)	13:30～16:30	オペラ「魔笛」 (約3時間)	音楽
11/28 (土)	13:30～15:00	黄金の落日-画家ルノアールの生涯 (30分) ムーミン(おじさんは手品師)(25分) ハロウィンの大冒険 (24分)	美術 アニメ アニメ
12/26 (土)	1回目 10:00～11:45 2回目 13:00～15:45	忍たま乱太郎 (45分) ミッキーマウスのメリークリスマス (26分) 雪渡り (25分) *子供映画会を兼ねる	アニメ アニメ アニメ
1/23 (土)	13:30～14:30	ディズニー・コンサート(60分) メロニー・コンサート(ジャズ)	音楽

入場無料(申込不要)

ところ／岡山県生涯学習センター
視聴覚室(情報・創作棟1階)
定員／各72名(席数の関係上、先着順となります。)

笑って躍動 はばたく AKASAKA

オーガニクな生涯学習を

みつめていう Human Rights

自らが、未知の世界、手本のない世界で、少しでも人間らしく、自然に、脅かされることなく、より充実した人生を送る事ができる。それが、生涯学習社会ではないでしょうか。そうした中で、Human Rightsを生かし、情報提供と情報の共有、そして情報の活用を目標に、赤坂町ではインターネットシステムを媒体として学習支援を推進しています。

インターネットの詳細は

<http://www.town.akasaka.okayama.jp/>

をご覧ください。

さて、この情報を有効に活用する「オーガニクな生涯学習」ですが、赤坂町振興計画の中では、情報・通信網の整備・充実の項目で、次のように定義付け、平成5年から取り組んでいます。

「経済のサービス化、ソフト化の進展、価値観の多様化の進展などから、産業面、生活面、行政面での情報の持

つ価値が高まっている。今後は、進展する高度情報化社会の持つ利点を有効に活用し、産業の活性化、行政サービスの高度化を推進し、産業経済活動の情報を活用し、住民生活の向上に資するよう、地域間情報（公共施設の情報化とその活用による行政と住民、住民間の情報交流など）の充実とその活用を図るため、各種情報網の整備・充実を推進する。また、このような社会情勢に対応し、学校教育、社会教育との連

携に努める」

この中で、社会教育分野における情報提供の取り組みを紹介します。

公的社会教育分野の事業はその中心部分を、赤坂町中央公民館で主催事業として実施し、地域活動の分野は、石相・軽部・笹岡の分館（団体、活動で行っています。また、体育・スポーツの活動は赤坂町体育協会を中心に自主的活動として推進し、活動の底辺拡大と、個々の技能向上を目標に支援をしています。その他の分野については、事務が未分化のため、教育委員会事務局生涯学習課社会教育係を中心に推進しています。どの分野においても生涯学習の観点にたつて、関連部署との連

携を図っています。

これらのうち、公民館活動（主催事業・公民館グループ活動）の情報はインターネット・町広報紙・公民館講座案内、申込者にはダイレクトメール等で提供しています。特にインターネットでは事業が済み次第ホームページでレポートするなど、情報の共有化に取り組んでいます。URLは

<http://www.town.akasaka.okayama.jp/koumin/>です。

今後は、オーガニクな学習の充実を目指し、情報の収集と情報の提供といった互いに個及び集団の学習意欲が高まる支援活動の推進に取り組みたいと考えています。



赤坂町公民館ホームページ



太鼓打ち教室

旭町『さくらのうた』募集

桜がネットする『人・地域・心』

山の桜を散らして角を磨きけむ

深山の尾根を鹿は行きつつ

三浦知恵子（豊中市）

ジヨギングの足をさくらに休めけり

藤原 照明（瀬戸町）

蒼穹夢幻さくら舞つ舞つ風の中

武村 一美（茨城県）

平成十年三月 旭町文化会館の開館一周年を記念して、さくらをテーマにした短歌、俳句、川柳を募集しました。右掲は、各部門の大賞作品です。

募集期間が短く十分な広報ができなかったにもかかわらず、新聞報道と愛好家のネットワークによって、県内五十二市町村から、一部には東京、千葉、広島など六都府県から、約五百五十点の応募がありました。

旭町のキャッチフレーズは桜と湖の町。そこからテーマを桜としたのですが、応募作品に、改めて日本人の桜への想いの深さを知らされました。望郷愛、人生の岐路、出会いと別れ、さまざまな出来事や心の動きが桜と結び付

いているのです。

父母眠る山あいの里花吹雪

北 朝義（倉敷市）

出陣の日を片付けられて城山の櫻の花を見つつ別れき

向 好恵（矢掛町）

栄転も左遷もありて花の宴

村野 一典（岡山市）

ふる里を去りゆく友らも植ゑし

なりダム湖をめぐる桜を咲けり

藤原 北湖（旭町）



桜湯に浮かぶ未来と思ひ出と

難波 賢子（総社市）

四月から五月にかけて、旭町文化会館の特別展示室とギャラリーで優秀作品展を開催しました。大賞、準大賞作品計九点は掛け軸に、さくら賞作品三十点は短冊に仕立てて展示しました。応募者はもちろん、多くの愛好家が訪れました。

盲目の歌人、谷川秋夫さんとの交流も始まりました。

応募者全員に賞状と全応募作品を掲載した作品集を、また、大賞、準大賞、さくら賞入賞者には、優秀作品展で展示した掛け軸や短冊を副賞として贈りました。準大賞となった谷川さんにも賞状、作品集、掛け軸を届けましたが



旭町ホームページ <http://wta.lucksnet.or.jp/asahi/>

谷川さんにはどれも見る事ができません。後になって谷川さんが盲目であることを知り、作品集の朗読に町の紹介を添えた録音テープをプレゼントしました。この音の歌集は新聞でも大きく取り上げられました。

『さくらのうた』は、短歌、俳句、川柳といった短詩型文学の作品発表の場となっただけでなく、作品展開催、作品集発行などを通して、人と人、旭町と他の地域とを結ぶことができました。

「旭町が好きになりました」「今度旭町を訪問します」「さくらのうた」がきっかけで〇〇さんと知り合いになりました。「副賞の短冊を毎日ながめています」

桜の季節が終わって数カ月が過ぎた今も、『さくらのうた』へのメッセージは、手紙、電話、新聞への投稿など、さまざまな方法で、応募者から寄せられています。

音の歌集を何回も聞き、心遣いに胸が熱くなったという谷川さんからも新しい歌が届けられました。

谷川 秋夫（盲久町）

初級パソコン講座

—平成10年度後期—

初級パソコン講座
初心者限定

これからパソコンを始めようという人を対象に、初級パソコン講座後期分(4種5回)を開催します。

内容

「Power-Point」の基礎(11月24日、25日)
 年賀状の作成(12月1日、2日)
 年賀状の作成(12月6日)
 「Excel」の基礎(12月8日)
 インターネット体験(12月12日)

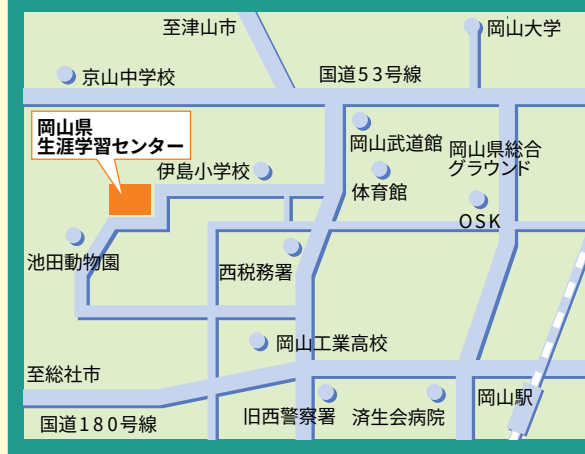
参加費 無 料(ただし資料代として500円徴収します)
会場 岡山県生涯学習センター パソコン教室(情報・創作棟4階)
定員 各回20人(応募者多数の場合は抽選となります)

※所定の用紙にて11月10日(火)までにお申し込みください。

※お問い合わせ先

岡山県生涯学習センター 情報課 TEL.086-251-9752

交通案内図



車

■ JR岡山駅西口から約5分 ■ 山陽自動車道岡山ICから約10分

バス

■ 定期バス JR岡山駅バスターミナルから京山・池田動物園行き(岡電バス) 児童会館前下車(所要時間約15分)

問い合わせ先

- ・講座
(086)251-9751(振興課直通)
- ・教材・機器等の利用
(086)251-9752(情報課直通)
- ・学習相談
(086)251-9750(代表)
(学習相談とおっしゃってください)
- ・施設利用
(086)251-9750(代表)

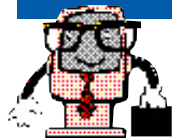
Let's start!

お知らせ

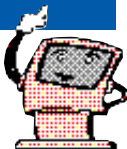
県民学習講座(文化講演会)の開催について

岡山県生涯学習センターでは、県民の皆さんを対象に、国内の著名人(未定)を招いて、県民学習講座(文化講演会)を開催します。

- ・日時…平成11年2月21日(日)13:30~15:30(予定)
- ・会場…岡山県生涯学習センター ホール
- ・定員…500名
- ・入場料…無料
- ・申し込み方法…後日御案内します。

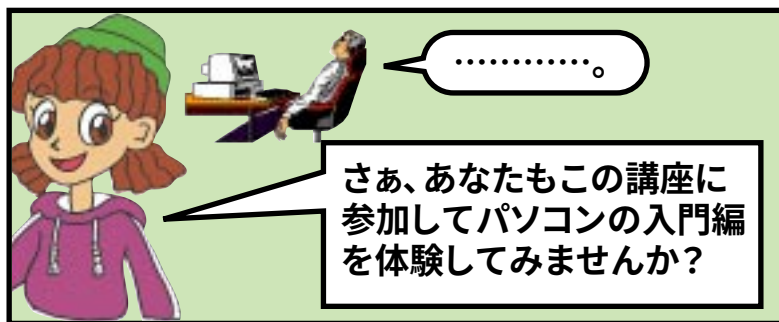


初級パソコン講座受講者募集中!



各講座とも定員は20名、応募者多数の場合は抽選となります。
受講料は資料代として¥500が必要です。

講座の時間は、
第1回、第2回、第4回が
18:30~20:30
第3回と第5回が
10:00~15:00 です。



- 第1回 11月24日(火) & 25日(水)**
・「Microsoft Power-Point」でプレゼンテーション
- 第2回 12月1日(火) & 2日(水)**
・年賀状の作成
- 第3回 12月6日(日)**
・年賀状の作成
- 第4回 12月8日(火) & 9日(水)**
・表計算ソフト「Microsoft Excel」の基礎
- 第5回 12月12日(土)**
・インターネット体験
- *各回ともはじめにWindowsの基礎を学びます。



—申込先—
〒700-0016 岡山市伊島町3-1-1
岡山県生涯学習センター情報課 宛
*電話での申し込みは受け付けていません。

**申込×切は、
11月10日(火) 必着です!**

下の申込用紙に必要事項を記入して、住所・氏名を記入した返信用封筒に80円切手を貼ったものを添えて申し込んでください。
(複数講座の申込可!)
(返信用封筒は1通でOK!)

- ◎主催 岡山県生涯学習センター
◎会場 岡山県生涯学習センター パソコン教室 (情報・創作棟4F)

CHECK!

きりとせん

平成10年度 初級パソコン講座(後期) 申込み用紙 ※1講座につき1枚の申込用紙を作成してください

ふりがな			年 齢	性 別
氏 名			歳	男 ・ 女
現 住 所	〒			
	TEL ()			
受講希望日	第()回	月	日	